

科目名	カウンセリング入門 (Introduction to Counseling)			科目コード	147
開講学科	看護学科・ 臨床検査学科	選択区分	選択	単位数(時間)	1単位(15時間)
科目区分	専門基礎科目	履修時期	2年次後期	関連DP	看①②、臨①
担当教員	石丸 雅貴*				
授業概要	カウンセリングの歴史的背景を踏まえたうえで、解決志向アプローチの概説と実習(グループワーク)を行う。また、医療従事者として解決志向アプローチを実生活にどのように役立てることができるかを考察する。				
授業目標	医療現場で出会う患者や身近な他者から相談を受けたときに、相談者が自らの解決を見つけ出し、いくように導く対話法(解決志向アプローチ)の基本的な考え方を理解し技法の習得を目指す。そして、身につけたカウンセリングの知識が実生活の中でどう役立つのかを自ら考えられるようになることを目標とする。				

授業計画

回	項目	内容
1	カウンセリングの概観	カウンセリングの意義と諸理論の比較
2	傾聴	カウンセリングの基本姿勢 傾聴の技法(発言のくり返し、要約など)の概説と実習
3	解決志向アプローチ(1)	解決志向の基本理念:「問題解決」と「解決構築」、知らない姿勢
4	解決志向アプローチ(2)	スケーリング・クエスチョン、コンプリメントの概説と実習
5	解決志向アプローチ(3)	例外探しの質問、関係性の質問の概説と実習
6	解決志向アプローチ(4)	ミラクル・クエスチョン、コーピング・クエスチョンの概説 カウンセリングの実際
7	解決志向アプローチ(5)	解決志向アプローチの総括と演習
8	解決志向とレジリエンス	解決志向を実生活に生かす一例(レジリエンスの観点から考察)
成績評価方法	毎授業後のミニ所感文など授業に対する積極性30%、最終レポート70%。	
教科書	教科書は使用せず、必要に応じて資料を配付する。	
参考図書等	桐田弘江他訳「解決のための面接技法」(金剛出版 2016)	
授業時間外の学習について	質問技法の復習(各回10分程度)	
関連科目	128 心理学、129 コミュニケーション論	
備考		